



## 12月のキャロッピーデーは「ねぎ」を使ったメニュー

15日(木)は12月のキャロッピーデーで、菊陽産のねぎをいただきました。献立は、「むぎごはん、肉豆腐、ししゃもフライ、ごま酢あえ」でした。今回は、肉豆腐にねぎがたっぷり使っていました。菊陽北小校区の相馬さんのねぎ畑では、3月から4月上旬に種まきをされ、11月初旬から出荷をされているそうです。ねぎの白い部分を作るために、土寄せをして太陽の光に当たらないようにされるとのことですが、今年は暑さが厳しく普段より遅れが生じ、9月半ばから3回作業をされています。天気で作業内容が変わるため、いつも天気予報を気にされているとのことでした。肉豆腐はねぎの香りがとても良く、食欲が増します!寒くなれば鍋の出番も多くなりますが、ここでも、ねぎが大活躍しますね。この冬も、たくさんねぎをいただきたいと思います。ごちそうさまでした!



## 「お金の学校」で学びました! ~ 5・6年ともに学習 ~

15日(木)の5・6時間目、5、6年生を対象に、「消費者教育NPO法人お金の学校くまもと」の皆様を講師としてお迎えし、ワークショップを実施しました。代表の徳村美佳さんは、熊日でも記事を連載しておられましたので、ご存知の方もいらっしゃると思います。(保護者の皆様にもご案内したところ、2名の方に参加いただきました。ありがとうございました)健全な消費生活を行うために、必要な情報を収集し、合理的に行動するなどの自立の芽を育むことを目的として実施しました。私たちは一生お金と付き合っていくなくてはなりません。お金に関わる様々な問題を未然に防ぐことも必要です。ワークショップのねらいとして、以下の3点が挙げられました。

- ① お金を計画的に使うことを考えることができる。
- ② 家庭生活を支えるお金はどのようにして得ているのかを考えることができる。
- ③ 「必要」と「ほしい」について考えることができる。



「人生いろいろ!!」と題したワークの中で、突然の出費が発生(台風による屋根の修理、トイレの故障、親戚の結婚祝いなど)したことを想定し、家族みんなでやりくりを考えたり、1万2千円のゲーム機を手に入れるためにどうすればよいか考えたりしました。子供たちは、家族に見立てた班で様々な考えを出し合いました。「意志決定の力とスキル」を段階的に身に付けることが大切であると、ワークショップ後に講師の先生がお話をされていたのがたいへん印象に残りました。まだまだ学びは続きますね!



講師の徳村美佳先生



話し合いにも熱が入ります



保護者・先生も参加!

## 授業参観・学級懇談会お世話になりました! ~ コッコロ隊も一緒!

16日(金)は、授業参観、学級懇談会たいへんお世話になりました。各学級で、子供たちの様子を直接見ていただくとともに、どのような成長が見られたかなどについて、担任からお話をさせていただきました。また、保護者の皆様に集まっていただく貴重な機会でしたので、県人権同和政策課にお願いし、啓発活動を県内各地で行っている「コッコロ隊」に来てもらいました。「コッコロ隊」が、「あなたは知っていますか? 1人1人が違うこと」「見て見ぬフリ そんなあなたを見ています」というメッセージを紹介してくれました。子供たちが差別のない社会を創る視点を持つよう、御家族でも「コッコロ隊」のことや人権について話題にいただけたらたいへんありがたいです。ぜひ、よろしく願いいたします。「コッコロ隊」の方々が、「とても気持ちよく舞台に立てました」と、子供たちの素直な反応を褒めて帰られました。ダンスも一生懸命やりましたね!

